

## 平成28年度第2回瑞浪市上下水道事業経営審議会 会議録

□開催日時 平成29年3月3日（金） 午後1時28分から午後3時15分まで

□開催場所 瑞浪市消防防災センター 1階研修室

□出席委員 加藤 健二 会長  
橋本 孝晴 副会長  
山田 秀樹 委員（欠席）  
安藤 義隆 委員  
安藤 壽子 委員  
加藤 安司 委員  
河口 敦子 委員  
各務 彰 委員  
勝股 敬 委員  
林 清美 委員  
山内 真理子 委員（欠席）  
中山 裕美子 委員

□事務局 水野 光二 市長  
石田 智久 建設部長  
金森 悟 建設部次長  
市川 靖則 浄化センター所長  
山内 雅彦 上下水道課長  
加藤 真由子 上下水道課業務係長  
今井 哲也 上下水道課工務係長  
水野 裕久 上下水道課管理係長  
西尾 友宏 浄化センター管理係長

□次第 1. 会長あいさつ  
2. 市長あいさつ  
3. 上下水道経営審議会協議事項  
(1) 井戸水使用者にかかる誤徴収について …資料1  
(2) 上下水道料金の状況について …資料2  
(3) 瑞浪市水道事業経営戦略プラン(案)について …資料3  
(4) 瑞浪市下水道事業経営戦略プラン(案)について …資料4  
(5) その他

## 経営審議会会議の内容

### 開 会

【事務局】 本日はご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。只今から平成28年度第2回瑞浪市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、山田秀樹委員と山内真理子委員が欠席ですが、10名のご出席をいただいております。過半数の出席がありますので、審議会設置条例第6条の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、次第に基づいて進めさせていただきます。「次第1 会長あいさつ」加藤会長様よろしくお願いいたします。

### 次第1 会長あいさつ

【加藤会長】 みなさんこんにちは。本日は、ご多忙の中ご出席いただきましてありがとうございます。今回、大事な案件が発生しまして審議する必要があり、本日お集まりいただきました。資料について、前もって委員のみなさまのお手元に届いていますので、資料をご覧になられたという前提で会議を進めていきますのでお願いします。

本日の大きな議題は、上下水道事業の経営戦略プランの策定についてです。上下水道事業の経営で、私たちにとって一番心配な点は料金の値上げになると思いますが、今日の資料の中では戦略プランの期間である10年間は値上げをしないと計画されており安心していただけます。

瑞浪市の上下水道料金については、県の中でもトップクラスの高い料金設定です。この現状で、料金の値上げをしなくても何とかなるのではと考えてしまいますが、この先、確実に人口が減っていき料金収入が下がってくると思います。そうした中で、この事業を円滑に経営していくかが経営戦略プランの中に計画されており、経営に影響を及ぼす事態が起きなければ料金改定の予定がないとされています。今日は審議会に経営戦略プランについて諮問をうけているわけではございませんので、このプランについて事務局から説明を受け、計画をどのように実施していくか等、活発な意見を出し合い、プランを確認していただくお願いをしまして、あいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。続きまして、「次第2 市長あいさつ」市長より挨拶をお願いします

### 次第2 市長あいさつ

【市長】 みなさんこんにちは。

本日は平成28年度、第2回の上下水道事業経営審議会を開催しましたところ、皆様には大変お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。

まずは皆様に井戸水使用世帯の下水道使用料に誤徴収がありましたことを厚くお詫び申し上げます。昨年、10月22日の新聞でも報道されましたのでご存知のことと思います。

井戸水使用世帯の下水道使用料は、下水を使用する世帯員数を算定根拠としておりますが、この届出世帯員数が実態と違っているケースが多く存在することが判り、調査を行いました。

その結果、43世帯で徴収漏れがあり177万円を遡ってお支払いいただくことになりました。また、186世帯で過徴収があり763万円をお返しすることになりました。家庭の事情で世帯員の状況が変わりましたらその旨のご報告をお願いしており、報告により市の担当も調査や対応をしましたが、申告がないからといって調査を怠り誤徴収をしたことは市の管理責任不足です。みなさまに、大変ご迷惑をおかけし、またご心配をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。今後の再発防止を徹底して参りますのでよろしくお願い致します。

さて、本日は上下水道事業の経営戦略プランを策定しましたので、皆様に報告してみなさまからご意見をいただきたいと思っております。

少し概略を説明させていただきますと、経営戦略プランは将来に渡って安定的に上下水道事業を継続して行くため、計画期間を向こう10年とする経営の基本計画です。

人口減少により料金収入の減少が予想される中で、老朽化や震災に備えた投資を行いながら、いかに収入と支出の均衡を図っていくか、それに向けた具体的なプランを策定したものです。

どうしても収支の均衡が図れないとなりますと、会長さんがおっしゃられたとおり、料金値上げも視野に入れなくてはなりません。水道事業、下水道事業ともに計画期間の平成37年度まで、料金改定をしないで経営できる見通しをたてさせていただいております。ただ、これは現時点でわれわれが積算した範囲で推移すれば改定しないで行けるのですが、大きな動きがあったり災害が起きたりした場合は、引上げを検討しなければならなくなります。

水道事業の経営戦略プランの内容につきまして少し触れさせていただきます。まず事業計画としましては「日吉町白倉地区と戸狩地区の配水系統の再編」を行っていくこととし、また「震災時に優先的に給水すべき重要給水施設への管路耐震化」の事業を引き続き進めていきます。水道事業の安定化、健全化を図りながら、且つ効率的に事業を進めるためには「アセットマネジメントによる更新投資の平準化」が必要となります。今後は、事業の平準化を検討していく中で、優先順位をどう決定していくかがポイントとなっていきます。

下水道事業の経営戦略プランでは、「ストックマネジメントによる改築更新投資の平準化」を水道と同様に行う事、また関係地域におきましては大きな問題となりますが、現在農業集落排水事業の収支バランスがとても悪いため、改めていかななくてははいけません。そこで、市内3箇所の農業集落排水地区の内、月吉地区と日吉南部地区を公共下水道に統合を計画しています。この点につきましては、地域の皆さまとよく意見交換をする中で、この事業を進めたいと思っております。このプランには載せていませんが、残る大湫地区の農業集落排水についても、今後検討していかなければいけないです。農業集落排水は公共下水道と比べまして収支のバランスが悪いため、経費回収率が低い状況にありますので、統合することが今後の下水道事業の重要なポイントと考えておりますので、よろしくお願い致します。

経営戦略プランは、上下水道事業の「道しるべ」となる重要なものでございますので、委員の皆様のご活発なご意見をいただきますことをお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

【事務局】 これより協議事項に移ります。  
当審議会の会議の進行は、慣例により議長を会長にお願いしております。それでは、加藤会長お願いします。

### 次第3 上下水道経営審議会協議事項

【加藤会長】 議事をすすめます。  
まず、議事に入ります前に会議録署名者を指名させていただきます。会議録署名者として各務彰委員、中山裕美子委員を指名させていただきます。よろしくお願ひいたします。

それではこれより「次第3 協議事項」に入ります。

「1 の井戸水使用世帯の下水道使用料誤徴収について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 ≪資料1により井戸水使用世帯の下水道使用料の誤徴収について説明≫

【加藤会長】 ただいま、事務局から説明がございました。何か、質問がございましたら、お願いします。

【各委員】 [質疑なし]

【加藤会長】 特にないようですので、次に「2 上下水道料金の状況について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 ≪資料2により上下水道料金の状況について説明≫

【加藤会長】 ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございますか。

【勝股委員】 土岐市も給水区域が広く、給水人口密度が土岐市と共に低めです。比較すると給水原価が瑞浪市の方が高いです。また、多治見市は給水人口密度が高く料金収入である給水収益がたくさんありますので、給水人口密度と料金収入は深く関係するわけですね。

【事務局】 全国的に、給水人口密度が高いと短い配水管の区間でたくさんの料金収入が得られ、また維持管理を行う配水管の区間が短いと維持管理費を抑制できずので、効率がよくなります。

【勝股委員】 東濃用水の購入単価は、浄水場の近い中津川市と遠い多治見市とでは違いますか。

【事務局(部長)】 中津川市も多治見市も単価は同じです。

【各務委員】 県営水道水の購入単価を見直しすることはできないですか。

【事務局(部長)】 一昨年、県営水道の値下げがありましたが、その分を消費者のみなさまにすぐに還元できる財政的な余裕がありませんでしたので、料金を少しでも長い期間据え置くということにさせていただきました。

以前は、非常に不安定な土岐川の脆弱な水源での水道事業、陶、稲津などでは簡易水道事業をおこなっていました。過去にも大きな渇水がありましたが、このような渇水の危険を解消するために県に依頼して東濃用水を作っていた経緯があります。また、自己水を給水するための投資費用は多額であり、瑞浪市のような給水規模では負担が大きすぎますので、自己水開発をするわけにはいかない状況にあります。

**【勝 股 委 員】** 県営水道の地震対策事業が、市内で行われていますが、その事業により県営水道がまた高くなる恐れはないですか。

**【事務局（部長）】** のちほど経営戦略プランでも説明しますが、そのような内容も加味して説明させていただきます。

**【加 藤 会 長】** 「3の瑞浪市水道事業経営戦略プラン（案）」について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局（課長）】** ≪資料3により瑞浪市水道事業経営戦略プラン（案）について説明≫

**【加 藤 会 長】** ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございますか。

**【安 藤 委 員】** 昔は漏水が問題となっていました、現在もかなりありますか。

**【事務局（課長）】** 先ほど言いました有収率という指標が漏水の具合を表すもので、平成26年度ですと有収率が87.17%ですので、約13%が水道を配る途中で漏水によりどこかに行ってしまうこととなります。類似団体と比べると有収率はよい方ですが、瑞浪市は給水原価が高いため、漏水をいかに減らすかが重要ですので、漏水調査を行いながら有収率を上げるよう努力していきたいです。

**【事務局（部長）】** 有収率はかなりいいところでも92%くらいですので、今後90%を目標として効果的な漏水調査事業を推進していきます。

**【勝 股 委 員】** 人口が増えると、経営がよくなるのでしょうか。人口が減れば、購入する水道が減るので、経営に影響するのですか。

**【事務局（部長）】** 県営水道の購入単価は、前年の県営水道購入ピークに対する計算によりますので、人口がどれだけ増えたら経営がよくなるという試算をしておりませんのでお答えしかねます。これまで、北部等の未給水区域に水道を広げるために投資しましたが、現在その投資に見合った水道の利用状態ではないため、経営を悪くしている傾向にあります。

**【加 藤 会 長】** 次に「4 下瑞浪市水道事業経営戦略プラン（案）」を事務局より説明をお願いします。

**【事務局（課長）】** ≪資料4により瑞浪市水道事業経営戦略プラン（案）について説明≫

**【加 藤 会 長】** ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございますか。

**【勝 股 委 員】** 農集を公共下水道に接続する費用はどれくらいかかりますか。

- 【事務局（課長）】** 8ページ中央のグラフをみていただきますと、月吉と日吉南部の農集を公共下水道へ接続する費用は約92,000千円必要ですが、処理施設を廃止するため、施設の維持管理経費が不要となり、平成39年には313,000千円のプラスとなり効果が表れます。
- 【勝股委員】** 処理施設は取り壊すのですか。
- 【事務局（課長）】** 農集建設時には国庫補助金をいただいておりますが、全国的に農集の経営が不効率であるため、農集接続後の処理施設は防災倉庫などに利用することで補助金の還付を免除される国の制度がございます。
- 【各務委員】** 経営戦略プランの中で、污水管や浄化センターの機械設備を法定耐用年数の倍の期間を利用するとありますが、実際に可能でしょうか。
- 【事務局（課長）】** 私は浄化センターに長年勤務していました経験上で説明しますと、例えばポンプの法定耐用年数は20年ですが、実際にはメンテナンスをかけながら倍の年数以上使っています。新たなストックマネジメント支援制度の中では、各機械設備等をいかに長持ちさせるかについても支援が受けられます。例えば、ポンプの分解点検やオーバーホール等、長持ちさせるための点検調査費用についても、計画を立てて実施していくことで支援の対象となってきます。機械の種類にもよりますが、この支援を受けながら、機器別に積み上げを行い、法定耐用年数の2倍の期間、3倍の期間と長い期間利用することは、可能と考えています。
- 【勝股委員】** 農集が、公共下水道に接続した場合、農集の污水が浄化センターに来ますが、処理能力は大丈夫でしょうか。
- 【事務局（課長）】** こちらにつきましては、今年度下水道全体計画の策定を行っていますが、その計画の中で処理能力検証を行っており、月吉、日吉南部の農集からの污水を処理することになっても、今の処理能力で充分耐えられる能力があるとの検証結果となっています。
- 【勝股委員】** 汲み取りは、下水道事業の予算とは別予算でしょうか。
- 【事務局（部長）】** し尿処理については、一般会計の衛生費ですので、下水道事業会計とは別です。ただ、現在浄化センターで進めている污水処理施設共同整備事業が完了しますと、合併浄化槽汚泥とし尿について最終的な処理を行うことに切り替わりますが、会計は別です。
- 【加藤会長】** 東濃用水なども含め法定耐用年数の2倍などは、現実的に大丈夫ですか。
- 【事務局（部長）】** 経験則で導いているところが大きいですが、機器類などもついても適切な管理を行えば法定耐用年数よりはるかに長く使用できるということで、このように設定しています。現在、どんどん新しい管材ができており、瑞浪市でも新しい管を利用していますが、新しい材質の管を使用して40年や50年経過していないため実績が出ていない状況です。しかし、旧材質の管でも法定耐用年数まで大丈夫ですので、それよりは使用が可能と見込んでいます。また、2倍の期間の使用を見込んで更新計画を立てても、悪いところがあれば更新を行っていかねばなりません。

【勝 股 委 員】 管渠の更新投資費用予定の表で更新投資費の山が2倍にしたことで、ほとんど無くなりましたが、なぜですか。

【事務局（部長）】 グラフの高い時期は、更新施設は多い時期ですが、水道も下水も区画整理により短期間で布設した管渠が多く、集中して更新時期を迎えます。しかし、2倍にしたことで管渠更新時期が後ろへ伸びており、更新時期が到来するまでには、ストックマネジメントによる更新時期の分配が必要です。

【事務局（課長）】 更新投資の時期を2倍にしていることですが、これは瑞浪市が独自で倍と設定しているのではなく、各市においても耐用年数の倍の期間で更新などと計画しています。

【加 藤 会 長】 事務局の説明から、施設更新は法定耐用年数の2倍、ものによっては3倍の期間経過後に行うとして、投資財政計画を策定することは問題がないとしてよいかと思います。

時間もおしてきていますので、まとめていきたいと思います。今回いろいろな説明をうけ、委員のみなさまから貴重な意見をいただきました。今後の経営戦略プランの確定に向け進める方法について事務局よりご説明をお願いします。

【事務局（課長）】 今日委員のみなさまからいただきましたご意見から、このプランをご了承いただけるものと理解しています。

現在、パブリックコメントを募集していますが、本日まで市民のみなさまから特にご意見はありません。今後2週間の意見募集期間を経まして、仮に意見が寄せられた場合、その意見に対する市の回答を公表します。また、このプランに反映したいご意見があれば、修正したいと思います。その場合もホームページで反映した理由を明確にして、公表させていただきます。委員の皆様には、意見の集約結果や意見に対する対応を含め、最終確定したプランを書面で送付させていただきますので、よろしくをお願いします。

【加 藤 会 長】 では今後、事務局からの説明のとおり経営戦略プランの確定を進めていただきます。

【加 藤 会 長】 続きまして最後に、次第5その他について、事務局よりご説明をお願いします。

【事 務 局】 資料はございませんが、現在開会されています3月議会に瑞浪市上下水道事業経営審議会設置条例の改正を上程しています。

瑞浪市では審議会等の委員の10%以上を公募委員として選ぶことを基本方針にしています。現在12名の委員が見えますので、2名程度を公募委員として選出することを目的に改正するものです。

なお、現在の委員さんの任期は平成30年6月30日まででございますので、次期の委員さんから公募委員が加わることになります。

事務局からは以上です。

【加 藤 会 長】 公募委員が2名加わることになりましたが、只今の説明について、ご質問はご

ございませんか。

【各 委 員】 [質疑なし]

【加 藤 会 長】 本日の次第についてすべて完了しましたので、議事はこれで終了しました。  
これをもちまして、平成28年度第2回瑞浪市上下水道経営審議会を終了させていただきます。

【事 務 局】 加藤会長、議事進行ありがとうございました。  
最後に、石田建設部長よりあいさつを申し上げます。

【事務局 (部長)】 みなさん、大変お忙しい平日の昼間に貴重な時間をいただきましてありがとうございました。本日の経営戦略プランでは、上下水道料金とも10年間ほど料金改定は何とか抑えられそうだとの説明でしたが、決して黒字だからではなく、一般会計からの繰り入れがあって黒字となっていますので、企業会計の「独立採算」というところでは、非常に脆弱な状況でありますので、われわれも経費削減などさらに経営改善につとめ事業を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。本日は、誠にありがとうございました。

【事 務 局】 平成29年度の経営審議会については、平成28年度決算が9月に確定しますので、10月に開催したいと考えています。よろしく願いいたします。

閉 会